

校長室だより

No. 35

平成31年1月7日(月)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

平成31年の始まり

丸池の水面は厚さ1cmほどに凍り、土の固められていなかった部分を歩くとサクッサクッと霜柱が崩れる音がしました。空は絵の具で出せないほどの濃く澄んだ藍色で、遠く西の空に筋斗雲のような雲が数個あるだけ。東の空を見ると、先頭を飛ぶ鳥を追いかける数十羽の鳥たちが群れを



なして飛び立ちました。静けさの中に、時折新幹線がこの町を通過する時に聞こえる音が校舎に跳ね返され、空の青さが一気に薄くなって来た頃、遠く西の方から花火の音が響きました。厳かな平成31年の幕開けでした。

朝日の光の力は圧巻でした。遠望峰山方向の空を薄橙に変えていた太陽は、顔を出す前から南北にある山を強く照らしコントラストを際立たせ、山入端から顔を出した瞬間からそれを受け止める人の頬を熱くするほどの温かさをまっすぐ届けていました。教育は、広く子供に光をあて、まっすぐな温かさを届けることだと、わたしに教えてくれているようでした。平成31年は4月まで。次の時代、次の社会を考えるとときでもあると言われます。子供の安全を祈るとともに、次の時代を展望しつつ、粛々と子供の健やかな成長ために力を尽くすことを誓いました。六ツ美中部小学校の子供たち、保護者、学区のみなさん、どうぞ本年もよろしく願いいたします。

○六ツ美中部小学校の2019年(平成31年)を考える

2017年(平成29年)の新年に、現行の学習指導要領から新しい学習指導要領への転換を踏まえ、本校の学びの歩みをどのように進めるか4年間の計画を立てました。それが次ページの枠内のことです。

今年は、学習・教育活動の「振り返り」をキーワードにしてきました。子供の学びの自覚をいかに高めるか、学びの自覚が受動的な学びから主体的な学びの姿へと学びの姿勢を変え、学びの質を高め、「主体的・対話的で深い学び」を

実現する一助になると考えたからです。3学期が始まります。先生方は、実践記録をまとめるときになります。その記録を読み、子供の学びの質の高まりがあったかをつぶさにとらえたいと思っています。

【平成 29 年度】

- ① 子供のどういう姿が「主体的・対話的で深い学び」なのかの議論
- ② 本校が研究会以来積み上げてきた「E S Dカレンダー」と教育課程全体の関係整理（カリキュラム・マネジメント）

【平成 30 年度】

- ① **どういう学びが「深い学び」かの議論と「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の仮説作り、子供の振り返りをもとにした検証**
- ② 教育課程全体（日課・授業時間数・教科横断等）・指導計画のモデル作り

【平成 31 年度】

- ① 「主体的・対話的で深い学び」を具現化した授業研究
- ② 教育課程（日課・授業時間数・教科横断等）・指導計画の作成と試行

【平成 32 年度】 新学習指導要領・新教育課程をもとにした授業の完全実施

また、「②教育課程全体（日課・授業時間数・教科横断等）・指導計画のモデル作り」を先月から教務主任の稲垣先生が中心になって、企画委員、運営委員で考えています。先日、平成 32 年度から始まる新学習指導要領に対応した教育課程の一部について、岡崎市教委から岡崎市独自の英語学習の授業時間や授業の在り方の方向、プログラミング学習の授業研究をどうしていくかが示されました。このことは、平成 31 年度から始まり平成 32 年度にかけて対応していくことになっています。それに加え、本年度の熱中症問題等から、平成 31 年度は、市主催の行事の持ち方が大きく変わる予定です。本校は、平成 31 年度から平成 32 年度の新学習指導要領完全実施に対応した教育課程と年間計画を実施したいと考えています。その準備、計画をこの 3 学期に行います。

○六ツ美中部小学校の 2018 年度（平成 30 年度）3 学期を考える

3 学期は、最も大切なまとめの時と考えています。具体的に以下の点を大切に、子供たちの成長に全力で取り組みたいと考えます。特に卒業にかかわる「お別れの会」「卒業式」は、その取り組み（準備・練習）から、全校の子供の心の成長をつくる時となるよう取り組んでいきたいと思ひます。

◎今年度の子供の学力・体力・学びの成長に責任を持つ

- ・学力テストの実施と総括、補充 ・体力伸長の検証と体力づくりの継続
- ・振り返り「アスリート的心」の検証、学校診断アンケートの総括

◎子供に次学年の役割の自覚と準備をさせ、意識の成長を図る

◎心の成長を願い、「卒業」にかかわる取り組み全てを全校でつくる